

みやこ町PR 自信の動画

最優秀JOYTOUCH ネット公開



「突撃〜森からの贈り物〜」の一場面(みやこ町提供)

みやこ町が公募した町のPR動画の入賞3作品が決まり、町役場で9日、表彰式が開かれた。最優秀賞には、行橋市出身で福岡市を拠点に活動する映像作家、橋剛史さん(30)らのグループ「JOYTOUCH」が作った「突撃〜森からの贈り物〜」が選ばれた。町はホームページで入賞作品を公開している。

(高松秀明)

豊津中生が優秀賞



表彰状を受け取る橘さん(左)

PR動画は昨年7、10月、個人や団体、プロ、アマチュアを問わず幅広く公募。「よっちょいで☆みやこ町」をテーマに、自由な表現方法で1分以内の動画を募集したところ、県内外から15作品が寄せられた。入賞作品はインターネット投票や町の若手職員による審査などで決めた。

最優秀賞の「突撃〜森からの贈り物〜」は、イノシシと鹿にふんした2人が町内を縦横無尽に駆け回る内容。ラストシーンで、ジビエ肉のおいしさをアピールしている。

優秀賞は、地元の豊津中3年の男子生徒が作った「ここは福岡みやこ町!男子中学生はひゅうむがみやっこ君と一緒に町おこし」。生徒たちが、町のマスコットキャラクター「みやっこ君」と一緒にダンスをしながら、町の観光スポットなどを紹介する。3番手のみやっこ君賞に

は、東京都杉並区の「ピースカンパニークルー」が作ったアニメーション作品「みやこ町には魅力がいっぱい!」が選ばれた。

表彰式には、橘さんと豊津中の男子生徒7人が出席。井上幸春町長から表彰状が手渡された。

橘さんは「町の魅力を表現しよう」と、本気になって作った自信作。ストーリーがあつて楽しめる内容なので、ぜひ見てほしい」と話していた。